

# 一般財団法人 岡山県国際交流協会

名称	一般財団法人 岡山県国際交流協会	
英文名	Okayama Prefectural International Exchange Foundation	
代表者	代表理事 末長 範彦	
所在地・連絡先	〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内 TEL:086-256-2000 FAX:086-256-2226 URL: http://www.opief.or.jp/ E-mail: main@opief.or.jp	
設立年月／地域国際化協会認定年月	1991(平成3)年3月/1991(平成3)年4月	
基本財産／年間予算額	1,015,410千円/210,435千円	
会員制度	個人会員 307名(年会費 2,000円)、団体会員 40団体(年会費 10,000円)、賛助会員 4団体(年会費 30,000円)、ジャパニーズ230名(年会費 2,000円)	
役員数／職員数	評議員8名、理事13名(常勤1名)、監事2名/22名(正規3名、嘱託12名、臨時2名、人材派遣3名、JICA1名)	
国際交流施設の概要	岡山県岡山国際交流センター	岡山県所有、延床面積6,757㎡、平成7年6月設置(指定管理者に指定)
民間国際交流団体とのネットワーク	岡山県地域国際化推進団体連絡協議会15団体	
定期刊行物	会報誌『おかやま国際交流』(日本語)年4回	
主な出版物	岡山県在住外国人アンケート調査結果報告書(H17.6)、外国人のための岡山生活情報ハンドブック(英語版、中国語版)(H18.3)、(ポルトガル語版)(H19.3)、(ベトナム語版、インドネシア語版、韓国語版、スペイン語版)(H21.12)、外国人支援ガイドブック(H21.1)、子ども日本語学習支援ガイドブック(H24.1)、留学生等による国際理解学習支援プログラム事例集(年1回)、岡山のCOOL発見! 事業報告書(年1回)	
平成28年度 主要事業	多言語相談事業	岡山国際交流センターにおいて、多言語相談員による一般生活相談を実施する。(中国語・ポルトガル語:月4回、タガログ語:月3回、韓国語・ベトナム語:月2回) 予算額:1,220千円
	多文化共生コミュニケーションサポーター派遣事業	外国人又は関係機関(行政窓口、学校、医療機関等)からの要請を受け、登録者を派遣し、コミュニケーションのサポートを行う。 予算額:462千円
	日本語講座	在岡外国人に日本語学習の機会を提供することで、学習者が岡山の生活に適應することを助ける。また日本語の講座を通じて岡山及び日本に対する理解を深めてもらう。 予算額:1,208千円
	子ども日本語学習サポーター派遣事業	県内の小中学校等からの要請を受け、登録者を派遣し、日本語学習が必要な外国人児童・生徒等への日本語学習支援を行う。 予算額:867千円
	フェアトレード推進事業(おかやまフェアトレードデー!他)	フェアトレードのコーヒーを提供するカフェマップの実施、商品の展示・販売、セミナー、映画上映等を通じて、これまで国際協力に関心のなかった層にも、誰でもできる身近な国際協力として、フェアトレードへの理解と参加を呼びかける。また、年間を通じて、フェアトレードを啓発・推進する。 予算額:612千円
	地球市民講座	注目すべき国・地域や、地球規模の課題などを取り上げ、大学教授等による講演会を開催する。(年3回) 予算額:620千円
	岡山を知ろう交流バスツアー	岡山在住の留学生・外国人及び県民等を観光バスで岡山県各地の旧跡や観光地に案内し、岡山への理解を深め、お互いの交流を図る。 予算額:670千円

# 一般財団法人 岡山県国際交流協会

英語で話そう	参加者が外国人講師の指導のもと、英語で話し合い、コミュニケーション能力を向上させるとともに、相互交流を通じて国際理解を深めることを目的に開催する。 予算額:202千円
留学生等による国際理解学習支援プログラム	県内の大学より登録した留学生を小学校に派遣し、小学校が作成した指導案に沿って交流する(上限10回) 予算額:610千円
災害時多言語支援センター開設調査事業(災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会を含む)	災害時多言語支援センター開設のための研究調査及びボランティア登録者のスキルアップと増員をめざし、災害時のボランティアの役割について学ぶ研修会を実施する。 予算額:751千円
日本語学習支援等事業	県内在住の日本語学習指導者経験者等を対象に日本語指導の方法、工夫の仕方、改善方法等を学ぶ研修会を開催する。また、日本語学習リソースコーナーの図書資料の購入や管理・貸出業務を行う。 予算額:396千円
話してみよう韓国語(岡山大会)	韓国語学習者が韓国語の様々な表現を楽しみ、学ぶ楽しさを感じる場として、県民の韓国の文化に対する関心を高め、韓国への理解をさらに深める。(1回) 予算額:981千円
岡山のCOOL 発見!	外国人から見た岡山のCOOL(魅力)をテーマに、在住外国人と日本人が議論を通じて、新たな岡山の魅力を発掘する。(年2回) 予算額:730千円
多言語による情報提供事業	防災の基礎知識に関する部分を増やした「岡山生活ハンドブック」(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語)の改訂版を作成する。 予算額:4,801千円
日本文化紹介事業	在住外国人に日本文化(茶道・着付け・日本料理)を紹介し、体験してもらう。また、交流会も実施し、日本人との交流も深めてもらう。 予算額:534千円



岡山国際交流センター



おokayamaフェアトレードデー!



英語で話そう